

# サンダーバース戦 解説ナビ試行

NPO法人「富山スポーツコミュニケーションズ」(TSC、佐伯仁史理事長)は、27日に富山市民球場で行われるプロ野球・BCリーグの富山サンダーバースー福井ミラクルズ戦で「スポーツ観戦ナビゲーション」を試験的に導入する。小型レシーバー機器を使ってルールや戦略など見どころを解説するサービス。より深くプロスポーツを観戦するためのアイテムになる。

県内ではJFLのカターレ富山、バスケットボール・bjリーグの富山グラウジーズを含めプロスポーツチームが誕生し、プロスポーツ観戦が気軽に楽しめるようになった。TSCは初めて会場に来た人に生のスポーツ観戦の楽しみを伝え、リピーターになってもらえれば」と願い、導入した。

## 観戦もっと楽しく

bjリーグのシーズン中、1月から4月にかけて行われた富山グラウジーズのホーム戦14試合で実施し「試合途中で作戦変更したことが分かった」などと好評だった。

富山サンダーバースの試合で行うのは初めて。27日は元ロッテ捕手の土肥健二さん(高岡商高出)が解説者を務める。共同募金会の配分事業として行い、レシーバー機器を試合会場に30台用意する。今後は、ホームゲームを中心に行う予定。今季のカターレのホームゲームや他の競技でも実施を計画している。

TSCは試合会場でのボランティアスタッフを募集している。問い合わせはTSC事務局、電話090(5176)0075。



解説を聞きながら富山グラウジーズの試合を観戦する来場者ー1月、魚津市のありそドーム